

# 「フランスの風」

*Le vent de France*

～バロック音楽&コンテンポラリーダンスの新たなる融合～

*La nouvelle collaboration de la musique baroque et la danse contemporaine*

## プログラム *Le Programme*

バッハ：半音階的幻想曲とフーガ BWV903  
*J.S. Bach : Fantasia Chromatique et le Fugue*

バッハ：無伴奏チェロ組曲第3番  
*J.S. Bach : Troisième Suite pour le violoncelle*

デュポール：チェロソナタ第4番、第5番  
*J.P. Duport : Quatrième Sonate pour le violoncelle*

バリエール：2台のチェロソナタ第2番  
*J.B. Barrière : 2ème Sonate a tre*

ラモー：クラヴサン曲集(1724年)  
ため息、ソローニユの愚か者  
*Rameau: Pièce de clavecin (1724)  
Les Soupirs, Les Niais de Sologne*



©MICHICO

**KAN-ICHI**  
ダンス *Danse*

2016. **6.10** (金) **19:00** 開演 (18:30 開場)



**ラファエル・ピドゥー**  
バロックチェロ  
*Raphaël Pidoux, Violoncelle*

**パスカル・ジョパール**  
バロックチェロ  
*Pascale Jaupart, Violoncelle*

**植山 けい**  
チェンバロ  
*Kay Ueyama, Clavecin*

**ルーテル市ヶ谷ホール** 全席自由：5,000円 ペア券：9,000円

*Vendredi, le 10 Juin, 2016 à 19h / La salle luthérienne d'Ichigaya*

Place libre : 5,000 Yen, 2 personnes : 9,000 Yen.

【チケットお申込 & お問い合わせ / Ticket】 松木アートオフィス：03-5353-6937 C&K：03-6315-3044

【チケットお申込】 東京古典楽器センター：03-3952-5515

【オンライン予約 / Réservation on ligne】 <http://www.kayueyama.com/>

主催：C&K 協催：キングインターナショナル 協力：ムジカテミス

後援：日本チェンバロ協会、桐朋学園音楽部門同窓会、在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本  
CID-UNESCO-TOKYO ユネスコ国際ダンスカウンシル東京





2012年にデュポールのチェロソナタ集を世界初録音した高名なチェリスト、ラファエル・ピドゥー、パスカル・ジョパール、植山けいとのパロックトリオ日本公演2回目は、フランスで長年活動してきたダンサーKAN-ICHIの即興ダンスと夢の共演！

バロック音楽を現代においてどの様に感じるのか、新たな可能性を見出す。

4人のアーティストから、【フランスの風】を感じられる東京公演となるだろう。



© MiCHICO

Nous voudrions trouver une nouvelle direction entre la musique baroque et la danse contemporaine, "Comment ressent-on la musique baroque de nos jours?"

Raphaël Pidoux et Pascale Jaupart ont aussi collaboré avec des étoiles de l'Opera National de Paris et d'autres danseurs. Kay Ueyama est depuis 5 ans leur partenaire en France et au Japon.

Nous allons travailler sur les improvisations d'un danseur contemporain, KAN-ICHI. Avec ces 4 artistes, c'est un spectacle où l'on pourrait percevoir et sentir "Le vent de France" à Tokyo.

## プロフィール Profile

ラファエル・ピドゥー：バロックチェロ

Raphaël Pidoux, Violoncelle

「見事に洗練されたバハ」 ロンドンストラッド誌

「奥深い音色、スケールの大きい音楽性」 モントリオールプレス誌

Trio Wanderer (トリオ・ワンデラー) のメンバーとして世界的に活躍し、シャンゼリゼ劇場 (パリ)、スカラ座 (ミラノ) などに出演し、シャルル・デュトワなどの指揮者やフランス国立管弦楽団など数多くのオーケストラと共演。17歳でパリ国立高等音楽院へ入学し1等賞で卒業。1988年ARDミュンヘン国際コンクール入賞、バハコンクール3位受賞。これまで数々の録音よりレコード大賞、ディアバゾン・ドール賞を受賞。2009年フランスを代表するアコーディオン奏者リチャード・ガリアーノ氏とピアツォラのCD録音並びにコンサートに出演し、同年パリ・オペラ座にてカダール・ベラルビとヌレエフの振付による【バハ：無伴奏組曲】で特別出演した。現在パリ国立音楽院で教鞭を取り、ゴフレッド・カッパ制作 (サルツツォ1680年) のチェロを使用している。http://www.triowanderer.fr/

パスカル・ジョパール：バロックチェロ

Pascale Jaupart, Violoncelle

マルメゾン音楽院修士課程を卒業後、アメリカ・インディアナ大学にてヤーノシュ・シュタルケル、堤剛氏に師事。チェリスト兼ヴィオラ・ダ・ガンヴィストとしてパリを中心に活躍している。パリ市6区コンセルヴァトワールチェロ科教授。アマールコル弦楽四重奏団のメンバーとしてFNAPEC並びにイルザック国際室内楽コンクール入賞。ヴィオラ・ダ・ガンバをパリでクリストフ・コワンとバルセロナ音楽院にてジョルディ・サヴァルに師事。パリのCapriccio Stravagante、Fuoco et Cenere、アンサンブルFragonard、オーケストラ・レ・シエクル、シャンゼリゼオーケストラ、トゥールーズオーケストラ、パリ管弦楽団、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団等と共演し、チェロ並びにガンバ奏者として活躍する。

植山 けい：チェンバロ

Kay Ueyama, Clavecin

2004年Paolo Bernaldiチェンバロコンクール第2位受賞 (イタリア)。第19回山梨古楽コンクール第3位受賞 (日本)。桐朋学園大学ピアノ科、アムステルダム音楽院チェンバロ科 (オランダ) 終了。欧米4カ国で研鑽を積みフランスと日本を中心に活躍する。これまでにサル・プレイエル (フランス)、ヴェルサイユ宮殿ロイヤルチャペル (フランス)、モーツァルト音楽祭 (ユネスコ世界遺産ヴェルツブルグ宮殿、ドイツ) などで演奏する。2012年スイス・ノイシャテル博物館所蔵のJ.ルッカーズ1632年製のチェンバロで録音し、フランスディアバゾン誌「新人賞」、レコード芸術で特選盤並びに朝日新聞推薦版に選出され、フランス国営放送並びにNHK FMで放送される。また、同年ラファエル・ピドゥー、パスカル・ジョパールと共に世界初録音したデュポール：チェロソナタがレコード芸術で準特選に選出。これまでチェンバロをメノ・ファン・デルフト、クリストフ・ルセ、ユゲット・ドレイフスの各氏に師事。京都市立芸術大学非常勤講師、Kay Music Academy講師。http://www.kayueyama.com/

KAN-ICHI：ダンス

KAN-ICHI, danse

幼少より母、亜甲絵里香にモダンダンスを師事。堀内完、余芳美などにバレエを学ぶ。

93年渡仏し、Gigi CACIULEANU、Ruxandra RACOVITZAよりコンテンポラリーダンスの指導を受ける。1994年フランス、国立レンヌ・コンセルヴァトワール卒業、銀賞受賞。1996年フランス、国立ブローニュ・ビヤンクール・コンセルヴァトワール卒業、金賞受賞。1998年フランス、国立アンジェ現代舞踊センター/CNCD卒業。2004年パリ国立ダンスセンター (CND) にてフランス国家公認ダンス教師免状取得。フランスを始め日本、イタリア、レバノンなどのダンス学校に招聘されワークショップを開くと共に、ヨーロッパ、アジア各地にて公演活動を行う。1996年よりCID-UNESCO日本代表会員として信任され日本と海外のダンスの架け橋と成るべく国際的な芸術文化交流に努めている。2014年にはアジア初、CIDユネスコワールドダンスコンGRESSを主催。世界26カ国より参加者を日本に迎えダンスを通しての国際交流を実現する。

http://www.cid-tokyo.org/

### L'Accès :

La salle luthérienne d'Ichigaya  
1-1 Sadohara-cho ichigaya,  
shinjyuku-ku, Tokyo 162-0842  
La station d'ICHIGAYA (ligne JR  
Sobu, ligne Toei-Shinjyuku, ligne  
Yurakucho, ligne Nanboku)



### 【アクセス】

ルーテル市ヶ谷ホール

場所の問い合わせ：03-3260-8621

東京都新宿区市谷砂土原町1-1

【各線市ヶ谷駅下車】

JR総武線 徒歩7分

都営地下鉄新宿線 A1 出口徒歩7分

東京メトロ有楽町線、東京メトロ南北

線 5,6 番出口徒歩2分



### 隠れた名曲！ デュポールのチェロ・ソナタ集

J-P. デュポール(1741-1818)： **公演曲収録**

通奏低音付きチェロ・ソナタ op.4 (全6曲)

①第4番ハ長調 ②第6番ニ長調 ③第5番イ長調

④第3番ハ長調 ⑤第2番ホ短調 ⑥第1番ニ長調

ラファエル・ピドゥー (Vc)、パスカル・ジョパール (Vc)、  
植山けい (Cemb)

録音：2010年9月、ポール・ロワイヤル・デ・シャン大修道院 (フランス)

【CD】INTEG 221189 直輸入盤 オープンプライス



### マリー=アントワネット遺愛の銘器で 華やかな極みの「ゴルトベルク」

J.S. バハ：ゴルトベルク変奏曲 BWV988

植山けい (Cemb)

録音：2011年10月26-28日

【使用楽器：J.ルッカーズ製チェンバロ (1632/1745年)】

【CD】INTEG 221188

直輸入盤・日本語解説付 オープンプライス

フランスを中心に活躍するピドゥー、ジョパール、植山けいのトリオによるジャン=ポール・デュポールのチェロ・ソナタ集！ 現在では殆ど演奏・録音されることのない埋もれた名曲です！

『バロック時代の作曲家をより深く理解するために、4カ国で探究し続け、やっと出会ったのがこの宝石の様な1634年J.ルッカーズ。ゴルトベルク変奏曲と伝説的なルッカーズが融合したら一体どのような世界が生まれるのだろうか？』植山けい自身そう語るこだわりの名器の響きは、繊細かつ煌びやかな響きを聴かせてくれます。